

下級裁判所裁判官指名諮問委員会（第83回）議事要旨

（下級裁判所裁判官指名諮問委員会庶務）

1 日時

平成30年2月22日（木）15：25～17：25

2 場所

最高裁判所中会議室

3 出席者

（委員）秋葉康弘，伊藤眞，井堀利宏，今田幸子，岩井重一，大段亨，大場亮太郎，北村節子，田中成明（委員長），中田裕康，明賀英樹（敬称略）

（庶務）中村総務局長，石井審議官，平城総務局第一課長

（説明者）堀田人事局長，馬場人事局任用課長

4 議題

（1）協議

- ・ 平成30年下半期の判事補から判事への任命候補者及び判事の再任候補者について
- ・ 平成30年4月期の出向からの復帰候補者について
- ・ 平成30年10月期の弁護士任官候補者について

（2）次回の予定等について

5 議事

（1）協議

協議に先立ち，退任した小川委員の後任として大場委員が紹介された。

庶務から，前回の委員会以後の経過として，平成30年1月の新任判事補候補者についての答申を最高裁判所に報告したこと及びその候補者についての最高裁判所における審議結果が報告された。

また、最高裁判所から、平成30年下半期の判事補から判事への任命候補者及び判事の再任候補者、平成30年10月期の弁護士任官候補者、平成30年4月期の出向からの復帰候補者、平成30年4月に出向先から判事補に復帰した後、同年9月又は平成31年1月に判事の任命資格を取得する者について、それぞれその指名の適否について諮問を受けたことが報告された。

- 平成30年下半期の判事補から判事への任命候補者及び判事の再任候補者について

庶務から、2月14日（水）午後1時30分から作業部会を開催したことが説明され、作業部会長である伊藤委員から、作業部会の検討結果について報告がされた。

作業部会の検討結果を踏まえて重点審議者について審議し、決定した。

そして、今後の手続として、速やかに、所管の地域委員会に指名候補者の名簿と略歴を提供するとともに、6月13日（水）までに従前どおりの方法で情報収集の上、その結果を報告するよう要請することとされた。

また、前回の地域委員会からの報告では、全国の全ての弁護士会において弁護士会による情報の取りまとめがなくなったこと、他方で、地域委員会には段階評価式アンケート方式のものがなお提出されていることなどを踏まえ、地域委員会に対し、これまでの尽力に謝意を表するとともに、「裁判官の職権の独立に対する影響、適格性に疑義が生じない情報を広く収集するという観点等に照らすと、弁護士会が各弁護士からの情報を取りまとめることは相当ではなく、各弁護士から直接地域委員会に情報を提供する方法によるべきこと、特に段階評価式アンケートによる情報収集は相当ではない」という当委員会の考え方を引き続き周知するよう依頼することとされた。

なお、平成30年4月に出向から復帰した後、同年9月又は平成31年1月に判事の任命資格を取得する者については、諮問時には出向中であり、現任庁はないことになるが、外部情報収集を行う時間的余裕がないわけではないことから、第42回の当委員会で定めたとおり、出向前の勤務庁を所管す

る地域委員会に対し周知依頼等をするのが適当とされ、また、4月には裁判所に復帰予定であるが、復帰した庁を所管する地域委員会に対し周知依頼等をして、締切日までの勤務実績が乏しく、適切な情報が寄せられる可能性が極めて乏しいことから、復帰庁を所管する地域委員会に対する周知依頼等は行わないものとされた。

- ・ 平成30年4月期の出向からの復帰候補者について

裁判官から出向している13人について、候補者の略歴、出向先から得た候補者の執務状況等を基に、判事又は判事補に任命されるべき者として指名することの適否について審議され、審議の結果、いずれの者についても指名することが適当であると最高裁判所に答申することとされた。

- ・ 平成30年10月期の弁護士任官候補者について

庶務から、以下のとおり説明がされた。

弁護士任官候補者に関する情報収集の在り方については、これまで、弁護士任官候補者に関する的確な情報が十分に収集できているとはいえ、調停官を経由した弁護士任官の推進等、早い段階からの的確な情報を収集するための方法を今後とも継続的に検討していく必要があるが、弁護士任官候補者側の事情に配慮し、当面は、全ての弁護士に任官候補者の名簿を示して情報提供の依頼をすることはせず、担当事件リスト記載の相手方代理人及び事情を知る者として候補者本人に挙げてもらった人から情報収集することとされてきた。他方、裁判官及び検察官からの情報収集に関しては、任官候補者が所属する弁護士会に対応する裁判所及び検察庁に対し、任官候補者の名簿及び担当事件リストを提示し、所属する裁判官及び検察官に対し、任官候補者の指名の適否に関する情報があれば、これを地域委員会に提供してもらうよう周知依頼することとされてきた。なお、任官候補者が調停官となっている場合には、調停官として執務している状況に関する報告書が最高裁判所から提出される旨の説明がなされた。

庶務からの説明を受けて、今回の弁護士任官候補者に関する情報収集の在

り方について審議した結果、地域委員会による弁護士等からの情報収集の方法、裁判官及び検察官からの情報収集の方法のいずれについても、従来と同様の方法によることとされ、庶務から、速やかに、所管の地域委員会に対し、6月13日（水）までに情報収集の上、その結果を当委員会に報告するよう要請することとされた。

(2) 次回の予定等について

・ 平成30年6月以降の委員会開催予定について

庶務から、「平成30年6月以降の委員会の日時について」に基づき、今後の審議スケジュールが提案され、了承された。

・ 作業部会について

作業部会のメンバーについて、明賀委員が岩井委員と交代し、伊藤委員、大段委員、大場委員及び北村委員は留任することとされた。

・ 次回の予定について

次回の委員会は、7月6日（金）午後1時から開催され、平成30年下半期の判事補から判事への任命候補者及び判事の再任候補者並びに同年10月期の弁護士任官候補者について審議することとなった。

以 上